

# News letter vol.9

## 森のムッレ教室とは？

約 60 年前、ヨスタ・フロム氏によって作られたスウェーデン発の子ども向け環境教育です。持続可能な社会形成を目指し、世界 11ヶ国に広がっています。

(社)日本野外生活推進協会

2019.10.7発行



ミニ地球、成長中

## ごあいさつ

日本野外生活推進協会 代表理事 高見 豊

彼岸花が咲く季節になりました。リーダーの皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

皆様方には、日頃より当協会の趣旨に賛同いただきご支援ご協力いただいておりますことに感謝いたしております。

秋になり涼しくなると、ついこの間まで「暑いですね」「ほんとうに猛暑ですね」とあいさつを交わしていたのがウソのように思えてきます。人は喉元過ぎれば熱さを忘れるといいますが、人の感覚とは、まさにそのようなものなのでしょうか・・・？

しかし、地球温暖化による気候変動の影響は確実に迫ってきており、もはや原因の究明研究レベルではなく誰にも実感されるレベルにまで達しています。我が国でも、九州の佐賀県や関東の千葉県に見られるような、台風による記録的暴風や豪雨による自然災害が多発しています。今すぐにも解決へのアクションを起こす必要があります。

2019年9月の国連気候行動サミットで、16歳のスウェーデン人のグレタ・トゥーンベリさんは、世界各国の首脳や閣僚を前に、「私たちの未来を奪わないで、すぐにアクションを！」と訴えました。このスピーチで世界における大きな社会変革が、新しい幕を切ったと感じました。

さて、当協会の重要事業であります第6回「森のムッレ全国ネットワーク代表者会議」及び第8回「森のムッレ全国シンポジウム」を鹿児島県屋久島町で開催いたします。屋久島の認定こども園あゆみの森こども園の皆様には大変お世話になりますがよろしくお願い申し上げます。

昨年度から取り入れていますリーダーステップアップ研修・講師のステップアップ講座4月に実施いたしました。また、「森のムッレ教室リーダー養成講座」は5月連休の本部の講座に始まり、8月実施の福岡県福津市のリーダー養成講座で217回を迎えました。

第218回は11月9～10日には神戸市東灘区でNPO法人「こども育ちわたし育ちマドリーナ」さんのお世話で、第219回は11月23～24日には、奈良県のNPO法人奈良地域の学び推進機構さんのお世話で「奈良市青少年野外活動センター」で実施いたします。

2019年度事業がスタートにて、はや6か月が過ぎ、事業が順調に推移いたしておりますこと、感謝申し上げます。

事務局は新たな教材の開発・プログラムの開発とリーダーの皆様にお役にたつ情報を発信していくことに努めてまいります。また、スウェーデンをはじめ国際的な情報も皆様と共有していきたいと思っています。リーダーの皆さまのニーズをお聞きして「森のムッレ教室」がより質の高い教育プログラムとなるよう努めてまいります。

今後とも引き続き、ご指導と協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 理事

代表理事	高見 豊
理事	君塚 昌俊
理事	小山 通子
理事	西村 恭子
理事	本莊 賀寿美
理事	原田 優
理事	荻野 尚子
理事	阪谷 裕子
理事	吉住 亜由美
監事	足立 邦明
監事	余田 淳子



SKOGSMULLE  
FRILUFTSFRÅMJANDET

## 事務局

事務局長 高見 幸子  
協会事務局事務員  
松本 みゆき  
ネットワーク事務局事務員  
松枝 純

第6回ネットワーク組織代表者会議、  
第8回森のムッレ全国シンポジウム in 屋久島 11月に開催！

2019年11月2日（土）～4日（月・祝）鹿児島県熊毛郡屋久島町の認定こども園あゆみの森こども園と屋久島環境文化研修センターを会場に、第6回ネットワーク組織代表者会議と第8回森のムッレ全国シンポジウム in 屋久島を開催いたします。



SKOGSKNYTTE  
FRILUFTSFRÅMJANDET



SKOGSKNOPP  
FRILUFTSFRÅMJANDET

今回は、ネットワーク組織代表者会議の会場提供や準備、また森のムッレ全国シンポジウム実行委員会をネットワーク団体である認定こども園あゆみの森こども園さまがお引き受けくださいました。ありがとうございます。お世話になりますが、どうぞよろしく願いいたします。

第6回ネットワーク組織代表者会議  
開催プログラム

- 14:00～15:00 ウェルカムイベント
- 15:00～15:20 開会挨拶・オリエンテーション
- 15:20～16:30 協会活動状況報告、各団体活動報告
- 16:30～16:45 休憩
- 16:45～17:45 意見交換会、グループワーク
- 17:45～18:30 まとめ、閉会
- 18:30～19:15 懇親会

第8回  
森のムッレ全国シンポジウム in 屋久島  
開催プログラム

- 11月3日（日）
- 8:30～8:45 開会挨拶
- 9:00～10:00 基調講演 高見幸子氏（ヨスタ・フロム森のムッレ財団理事、日本野外生活推進協会事務局長）
- 10:00～11:15 基調講演 光橋翠氏（サステナブル・アカデミー・ジャパン共同代表、日本野外生活推進協会公認講師、お茶の水女子大学大学院保育・児童学博士課程に在籍）
- 11:15～12:15 グループ討議
- 12:15～13:00 昼休憩
- 13:30～16:30 自然観察
- 16:50～18:00 各グループ感想・まとめ
- 19:00～21:00 交流会
- 11月4日（月・祝）
- 9:00～9:20 参加者集合、受付
- 9:20～9:50 開会式
- 9:50～11:30 公開教室（ムッレ・クニュータナ・クノッパン・オープン各教室）
- 12:00～13:00 昼休憩
- 13:00～13:20 ふりかえり・まとめ
- 13:20～13:40 閉会式

ドイツの「グリーン・エンジェル賞」  
アニータ・イーグル氏 受賞



Anita Egle アニータ・イーグルさんは、スウェーデン人でドイツ人と結婚して、南ドイツのミュンヘンに近い町 Schronbenhausen ショーベンハウゼンに住んでいます。彼女は、その町で 30 年間に渡って地域の子どもたちのために、森のムッレ教室の活動を続けてきました。その間、約 450 人の子どもたちが森のムッレに出会ったことになるそうです。この度、彼女の社会貢献が評価され、9月7日に、バイエルン州の環境大臣から「グリーン・エンジェル」という環境貢献賞を受賞しました。おめでとうございます。

フィンランドの森のムッレ教室の40周年記念行事 開催  
ヨスタ・フロム森のムッレ財団優秀リーダー賞を  
エーバ・ロッタ・バックマン氏 受賞



エーバ・ロッタ・  
バックマンさん

FSI フィンランド・スウェーデン・イドロット協会は、自然教育フォーラムの後、9月5日の夜に40周年記念パーティーを開催、フィンランドに森のムッレの普及に貢献したベテランリーダーや現役のリーダーたちが集まりました。スウェーデンの野外生活推進協会の本部の事務局長も式典に参席し、祝辞を述べ、記念品を手渡しました。

また、事務局長の Eva-Lotta Backman エーバ・ロッタ・バックマンさんは、フィンランドにおける森のムッレ教室の普及と発展に貢献したことが称えられ、ヨスタ・フロム森のムッレ財団から優秀リーダー賞を受賞しました。おめでとうございます。



フィンランドでの創設時からのベテランリーダーたち



## スウェーデンのマルメ支部のムッレマラソン大会



スウェーデンでは、子どもたちがテレビやコンピューターの前でゲームをして遊ぶ時間が増えて、運動が足りないことを健康上のリスクとしてよく議論されています。スウェーデンの各地方では、支部が森のムッレのマラソン大会のイベントを主催するようになっています。これは、スウェーデン南部、スウェーデンで3番目に大きい都市のマルメ支部が主催したマラソン大会の様子です。

## 【新刊予告】スウェーデンで実践されている森のムッレ教育の理論と実践

「森のムッレ教室」の考えを基盤にして、30年前に開発された「Ur och Skur(雨の日も晴れの日も)野外就学前教育」の保育実践を研究し、スウェーデン社会に対して解決策を提案している著者、この本は「なぜ野外教育が必要なのか」という理論と、「では、どうすればよいのか」という実践の両方を紹介、日本でこれらの活動をさらに広めるうえで大きな助けとなる、すべての大人たちに読んでいただきたい一冊です。(2019年10月25日発売)



### スウェーデンにおける野外保育のすべて

「森のムッレ教室」を取り入れた保育実践

著者 エーバ・エングゴード

翻訳 高見幸子・光橋翠

2,640円(税込)

出版社 新評論

ISBN-10 4794811365

ISBN-13 978-4794811363

256ページ

出版日 2019.10.25

### ＊□＊投稿文募集のお知らせ＊□＊

ご自身のムッレ活動や野外活動に関する様々な情報、ご意見・ご感想などを募集しています！  
①コラム名、②著者名、③所属先名、④電話番号、⑤E-mail をご記入の上、投稿文と活動写真(1~2枚)を添えて、E-mailにてお送り下さい。ご投稿お待ちしております。  
担当：松枝 E-mail: mulle2639@gmail.com